

偶ぐう

成せい 《令和六年度暗唱⑥》

少年しょうねん 老おい 易やすく 学がく成なり 難がたし

一寸いっすんの 光陰こういん 軽かろんず べからず

未いまだ 覚さめず 池塘ちとう 春しゅん 草そうの 夢ゆめ

階前かいぜんの 梧葉ごよう 已すでに 秋声しゅうせい

(意味)

少年はすぐに年をとり、
学問はなかなか思い通りに完成しない。

わずかな時間もむだにしてはならない。

池の土手の春の草の夢がまだ覚めない間に、
階段の前の桐の葉には、秋風がおとずれる。